



れきし みち はぎおうかん 歴史の道「萩往還」 ～街道とまちの再生を目指して～

◆活動団体

団体名：

連絡先：

(TEL

メール

)

◆活動内容

萩市では、街道を活用したまちづくりと観光誘客、そしてウォーキングを通じた心と体の健康づくりを中心に各種団体がそれぞれ特色ある取り組みを行っています。

萩往還工芸まつり 技・明木展

[開催日] 5月3日

※例年5月3日、4日の開催ですが、令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響により5月3日のみ開催し、飲食とステージイベントは中止となっています。

[開催場所] 萩市大字明木（明木市）

[入込客数] 4,000人（2022）

「技・明木展」は伝統の技法を受け継いだ豆腐・饅頭・地酒などをはじめとした明木の味と、県内外の伝統工芸品や絵画・彫刻・音楽などと結びつけて、地域の人々が出展者や来場者とコミュニケーションを深める中からこの明木の魅力を引き出し伝えようとおもいで開催されます。



[主な内容]

県内外の伝統工芸品の展示販売（陶器・ガラス・木工・草木染等）、絵画・彫刻等の展示、地元特産品の販売、オカリナ等の演奏、飲食コーナー、体験コーナー

R4年度

萩往還ワンデーウォーク2023

[開催日] 3月11日

[開催場所] 佐々並～明木～萩

[参加者数] 1,000人（各コース500人ずつ）

かつての参勤交代の御成道（おなりみち）として整備され、吉田松陰や高杉晋作など維新の志士が往来した歴史の道、

国の史跡にも指定されている萩往還を季節の風や木々の香りを感じながら歩きます。

○佐々並コース【17.3km】

国の重要伝統的建造物群保存地区の「佐々並市」を通り、標高差約300mの「一升谷」と呼ばれる坂道を歩きます。ここには、400年もの風雪を耐え忍んだ石畳がいまも残り、当時の往還の面影を最もよく残しています。



○明木コース 【8.3km】

藩主一行がかごを下ろして休んだ「悴坂（かせがさか）駕籠建場跡」、萩の城下を見ることが出来る最後の場所「涙松跡」といった史跡を通ります。